

2011年3月期 第1四半期 連結決算（米国基準）

（単位：億円）

【2011年3月期 第1四半期連結決算の概要】

- 新興国主導による世界経済の回復は持続している一方、ギリシャに端を発する金融混乱に伴う金融収縮が見られる欧州や、景気減速懸念が指摘される米国を始め、先進国に於いては景気回復の足取りは依然として重い。
- 2011年3月期第1四半期の四半期純利益（三井物産(株)に帰属）は1,025億円。資源・エネルギー価格の回復を主因に、前年同期比+452億円の増益。前年第4四半期との比較では+458億円の増益であり、前期よりの回復基調を維持し、先ずは順調なスタートとなった。
- オペレーティング・セグメント別では、鉄鉱石・原油価格上昇により、金属資源・エネルギーが前年同期比大幅増益。前年同期は赤字であった米州も業績回復が見られ黒字化。一方、機械・プロジェクト、食料・リテール、化学品が減益ではあるが、全てのセグメントが黒字を確保。
- 2010年6月末の総資産は、円高、売上債権の減少及び株価下落により、前期末比0.2兆円減の8.2兆円。株主資本は、純利益積み上げはあるが、円高及び株価の下落を主因に、前期末比0.1兆円減の2.1兆円。
- 営業キャッシュ・フローは130億円の資金獲得、投資キャッシュ・フローはメキシコ天然ガス発電事業案件等で160億円の資金支出、結果、フリーキャッシュ・フローは前年同期比220億円マイナスの300億円の資金支出。

経営成績	第1四半期 (2010/6期)	前年同期 (2009/6期)	前年同期比		主な増減要因	通期見通し (2010/3期決算公表時)	
			増減額	比率(%)		金額	進捗率
収益	10,976	9,774	1,202	12.3		—	
売上総利益	2,234	1,668	566	33.9	【売上総利益】 金属資源セグメント:鉄鉱石価格上昇による増加 エネルギーセグメント:油価上昇による増加	8,500	26.3
その他の収益・費用					【販売費・一般管理費】 年金費用負担減ほか	△ 5,600	
販売費・一般管理費	△ 1,321	△ 1,325	4		【貸倒引当金繰入額】 BAF 包括貸倒引当金ほか (前年同期 BAFほか小口の集積)	△ 100	
貸倒引当金繰入額	△ 11	△ 8	△ 3		【利息収支】 米ドル・円金利低下	△ 250	
利息収支	△ 8	△ 64	56		【受取配当金】 LNGプロジェクトからの配当金増加ほか	450	
受取配当金	145	102	43		【有価証券売却損益】 小口の集積 (前期 小口の集積)	△ 100	
有価証券売却損益	42	22	20		【有価証券評価損】 小口の集積 (前年同期 小口の集積)	△ 5,600	
有価証券評価損	△ 46	△ 28	△ 18		【固定資産処分損益】 小口の集積 (前年同期 小口の集積)	2,900	36.3
固定資産処分損益	3	3	0		【固定資産評価損】 三井石油開発 米シコ湾探鉱区鉱業権ほか (前年同期 小口の集積)	△ 1,600	
固定資産評価損	△ 21	—	△ 21		【雑損益】 為替損益、探鉱費用ほか (前年同期 為替損益、探鉱費用ほか)	1,300	47.0
雑損益	37	7	30		【持分法損益】 増加・Robe River Mining 鉄鉱石価格上昇 ・Collahuasi 銅価格上昇 ・JA三井リース 償却関係経費負担減	2,100	
その他の収益・費用合計	△ 1,180	△ 1,291	111		【持分法損益】 減少・三井物産 投資減損 ・IPM Eagle/IPM(UK) 電力デリバティブ契約 時価評価損益減少	3,400	32.6
継続事業からの法人所得税 及び持分法損益前利益	1,054	377	677	179.6		3,400	32.6
法人所得税(※1)	△ 443	△ 41	△ 402			△ 200	
継続事業からの 持分法損益前利益	611	336	275	81.8		3,200	32.0
関連会社持分法損益(※1)	499	308	191			115,000	21.1
継続事業からの非支配持分 控除前四半期純利益	1,110	644	466	72.4		2,800	32.2
非継続事業に係る損益 (税効果後)(※2)	—	△ 6	6				
非支配持分控除前 四半期純利益	1,110	638	472	74.0			
非支配持分帰属四半期純利益	△ 85	△ 65	△ 20				
四半期純利益 (三井物産(株)に帰属)	1,025	573	452	78.9			
売上高(日本の会計慣行に基づく)	24,297	22,307	1,990	8.9			
営業利益(日本の会計慣行に基づく)	902	335	567	169.3			

※1: 前期第2四半期より、持分法損益を税効果前での表示に変更したことに伴い、前年同期数値を組替えて表示しております。

※2: ASC205-20の規定に従い、当第1四半期までに非継続となった事業に関し、前年同期数値を一部組替えて表示しております。

オペレーティング・ セグメント情報	＜売上総利益＞			＜四半期純利益(三井物産(株)に帰属)＞			主な増減要因 (四半期純利益(三井物産(株)に帰属))
	第1四半期 (2010/6期)	前年同期 (2009/6期)	増減	第1四半期 (2010/6期)	前年同期 (2009/6期)	増減	
鉄鋼製品	102	88	14	23	14	9	・販売数量増、価格上昇
金属資源	479	142	337	397	197	200	・鉄鉱石価格、銅価格、ニッケル価格上昇 ・関連会社からの配当減に伴う繰延税金負債取崩し減
機械・ プロジェクト	235	220	15	66	130	△ 64	・海外発電事業 電力デリバティブ契約時価評価損益減 ・関連会社からの配当減に伴う繰延税金負債取崩し減
化学品	169	188	△ 19	32	46	△ 14	・石油化学品トレーディング不調 ・関連会社からの配当減に伴う繰延税金負債取崩し減
エネルギー	512	345	167	326	158	168	・油価、石炭価格上昇 ・LNGプロジェクトからの受取配当増加 ・三井石油開発 米シコ湾探鉱区鉱業権減損及び探鉱費
食料・ リテール	187	221	△ 34	17	49	△ 32	・相場商品に係る先渡契約の時価評価損 ・三井物産 株式減損
コンシューマーサービス・ 情報産業	121	118	3	42	1	41	・半導体関連商品取扱数量増 ・有価証券売却益
物流・ 金融市場	104	99	5	12	0	12	・貨物取扱量増 ・JA三井リース 償却関係経費負担減
米州	205	136	69	51	△ 26	77	・市場環境好転によるWestport Petroleum 赤字縮小 ・Steel Technologies 販売数量増 ・Champions Pipe 販売数量増
欧州・中東・アフリカ	47	35	12	4	0	4	・鉄鋼製品商内等堅調推移
アジア・大洋州	75	67	8	117	74	43	・資源子会社業績持分増加
合計	2,236	1,659	577	1,087	643	444	
その他	2	6	△ 4	12	△ 2	14	
調整・消去	△ 4	3	△ 7	△ 74	△ 68	△ 6	
連結合計	2,234	1,668	566	1,025	573	452	

財政状態	第1四半期末 (2010/6末)	前期末 (2010/3末)	前期末比 増減	主な増減要因	キャッシュ・フロー	第1四半期 (2010/6期)	前年同期 (2009/6期)
総資産	82,048	83,690	△ 1,642	【総資産】 円高、売上債権の減少、株価下落による上場株 式評価差額の減少など	営業活動	1,269	2,095
株主資本	21,276	22,301	△ 1,025	【株主資本】 四半期純利益の積み上げはあるが、円高による 外貨換算調整勘定の悪化、株価下落による未実 現有価証券保有利益の減少など	投資活動	△ 1,554	△ 226
有利子負債 (現預金等控除後)	20,865	20,557	308		(フリーキャッシュ・フロー)	△ 285	1,869
DER(ネット)	0.98倍	0.92倍	0.06pt上昇		財務活動	△ 100	△ 660
					換算差額	△ 257	129
					現金・現金同等物 の増減額	△ 642	1,338

＜参考＞

主要指標推移	第1四半期 (2010/6期)	前年同期 (2009/6期)
為替(円/米ドル: 平均)	91.29	96.76
為替(円/米ドル: 末レート)	88.48	96.01
		(10/3末:93.04)
金利(円LIBOR3M平均)	0.24%	0.51%
金利(米ドルLIBOR3M平均)	0.47%	0.76%
当社連結油価(JCC米ドル/bbl)	78ドル/bbl	50ドル/bbl
日経平均(期末終値)	9,382.64	9,958.44
		(10/3末:11,089.94)